

## 株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月下旬
基準日	定時株主総会・期末配当 毎年3月31日
中間配当	毎年9月30日
単元株式数	1,000株
公告方法	電子公告の方法により行います。 但し、電子公告によることができないやむを得ない事由が生じた場合は日本経済新聞に掲載します。 電子公告掲載アドレス <a href="http://www.kawai.co.jp/ir">http://www.kawai.co.jp/ir</a>
株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
特別口座の口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
郵便物送付先	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 電話 ☎0120-782-031(フリーダイヤル) 取次事務は、三井住友信託銀行株式会社の全国各支店で 行っております。

- 住所変更、単元未満株式の買取のお申出先について  
株主様の口座のある証券会社にお申出ください。  
なお、証券会社に口座がないために特別口座が開設されました株主様は、特別口座の口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。
- 未払い配当金のお支払いについて  
株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。



株式会社 河合楽器製作所

〒430-8665 静岡県浜松市中区寺島町200番地  
Tel:053-457-1213 Fax:053-457-1300  
URL:<http://www.kawai.co.jp>



## 第85期 報告書

2011年4月1日～2012年3月31日

 株式会社 河合楽器製作所

証券コード7952



株主の皆様には、平素、格別のご高配を賜わり厚くお礼申し上げます。  
第85期報告書をお届けするにあたりご挨拶申し上げます。

当連結会計年度におけるわが国経済は、東日本大震災による被害や景気低迷から緩やかに持ち直しつつあるものの、欧州の金融不安や米国での景気停滞懸念、急激な円高、株安の進行から、先行き不透明な状況で推移しました。

このような経営環境のもと、当社グループは「第3次中期経営計画」第2年度の計画遂行に取り組んでまいりました。

第85期の期末配当金につきましては、普通配当2円50銭に、記念配当（創業85周年、および最高級グランドピアノ『Shigeru Kawai』シリーズのモデルチェンジ・世界同時発売記念）1円50銭を加え、1株につき4円とさせていただきます。

今後につきましても、国内経済は厳しい環境が予想されますが、当社グループは、「第3次中期経営計画」に則した諸施策に引き続き取り組んでまいります。

株主の皆様には、引き続き一層のご支援ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

2012年6月

取締役社長 **河合弘隆**

当年度は、楽器事業のうち、国内ではモデルチェンジした最高級グランドピアノ『Shigeru Kawai』を軸とした高付加価値製品の販売や、楽器販売・調律・音楽教室の連携強化による三位一体体制で効率的販売を進め、海外では世界最大のピアノ市場である中国、および成長著しい新興国での販売拡大に注力いたしました。

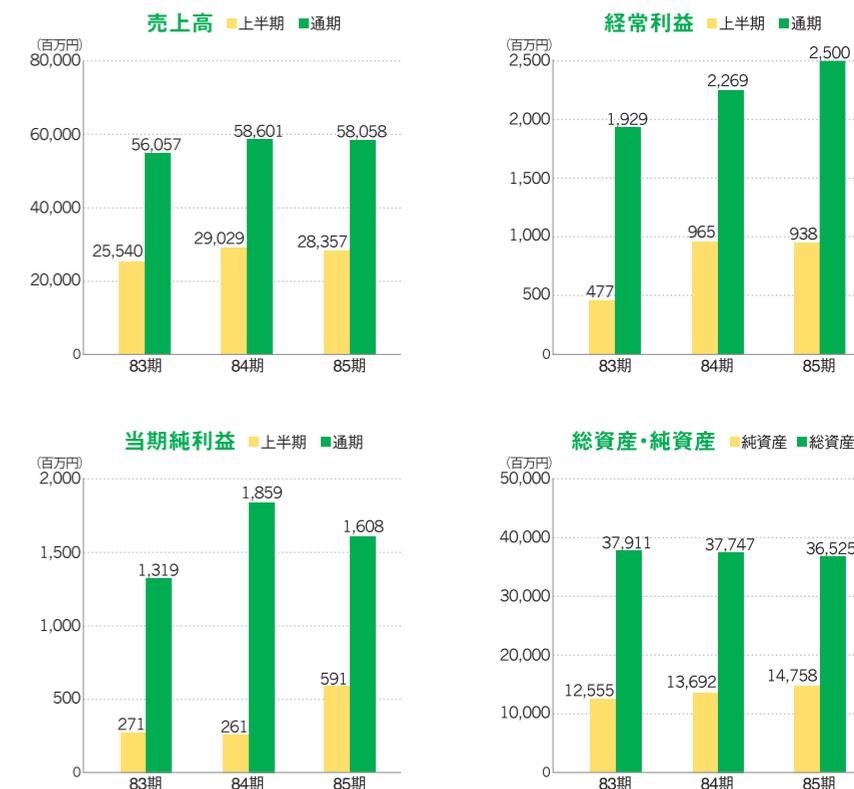
教育関連事業では市場に即した教室展開による収益力の確保をはかり、素材加工事業では受注量の拡大や生産効率の改善に努めました。

この結果、売上高は58,058百万円（前年度比543百万円 0.9%減）となり、このうち国内売上高は42,127百万円（前年度比860百万円 2.0%減）、海外売上高は15,931百万円（前年度比317百万円 2.0%増）となりました。

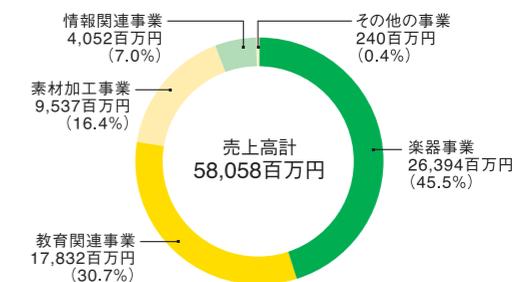
損益面では、営業利益は2,528百万円（前年度比98百万円減益）となり、経常利益は2,500百万円（前年度比231百万円増益）となりました。また、当期純利益は1,608百万円（前年度比251百万円減益）となりました。

総資産は36,525百万円（前年度比1,222百万円減）、有利子負債は4,074百万円（前年度比1,959百万円減）となりました。

業績ハイライト



事業セグメント別の売上構成

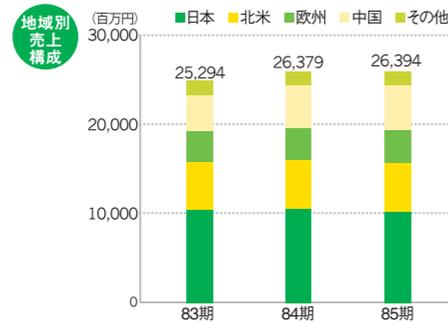
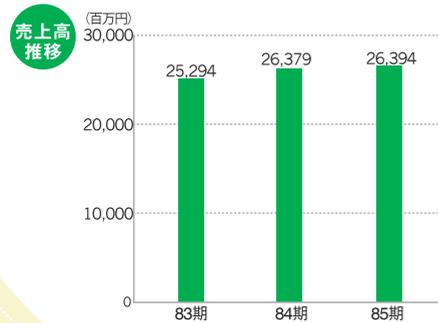


# 各事業別セグメントの概況

## 楽器事業

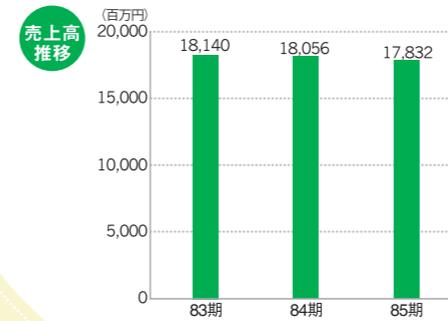
国内では、最高級グランドピアノ『Shigeru Kawai』の販売が好調に推移しましたが、震災による消費マインドの冷え込み等により、売上高は減少しました。海外では、中国でのピアノ販売が引き続き好調に推移し、欧米などでもピアノ、電子ピアノともに伸長しました。また、中国において電子ピアノの販売を開始しました。

売上高は26,394百万円(前年度比0.1%増)となり、営業利益は歴史的な円高の影響を受け780百万円(前年度比105百万円減益)となりました。



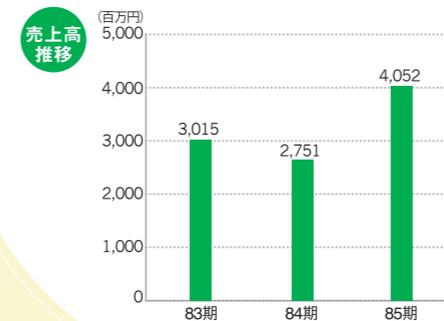
## 教育関連事業

被災地域における音楽教室および体育教室の休講などにより、売上高は17,832百万円(前年度比1.2%減)となりましたが、教室運営費用の削減等により、営業利益は1,499百万円(前年度比163百万円増益)となりました。



## 情報関連事業

IT機器の販売増加等により、売上高は4,052百万円(前年度比47.3%増)となり、営業損失は4百万円(前年度比40百万円改善)となりました。



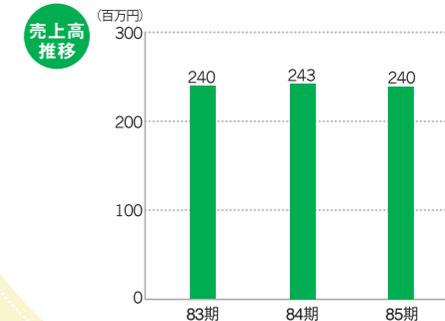
## 素材加工事業

半導体市場の低迷による受注減少および震災やタイの洪水等の影響があり、売上高は9,537百万円(前年度比14.6%減)となり、営業利益は534百万円(前年度比199百万円減益)となりました。



## その他の事業

当セグメントは、金融関連事業、保険代理店等の事業で構成されております。売上高は240百万円(前年度比1.2%減)となり、営業損失は24百万円(前年度比2百万円改善)となりました。



## 新 Shigeru Kawai シリーズ世界同時発売

当社は85年のピアノづくりの「伝統」を受け継ぎながら、竜洋工場内の Shigeru Kawaiピアノ研究所で研鑽を重ね、新素材のアクションや鍵盤盤など、「革新」に取り組んできました。

ピアノが誕生して300年、ピアノという楽器はすでに完成されたものという認識がある中でも、カワイピアノは日々進化を続けています。

## 伝 統 *Succession*



創業者の河合小市が「世界一のピアノを作りたい」と大きな夢を抱き、1927年(昭和2年)に浜松の地でピアノ製造を始めて以来、創業85周年を迎えます。

その間、創業者の夢を受け継いだ二代目社長河合滋は、夢の実現のために竜洋工場を建設し、半世紀にわたりピアノの品質向上に全力を傾注してきました。その河合滋が、自身の誇りと責任、人生哲学を込め1999年に世に送り出した当社最高級グランドピアノ。それがShigeru Kawaiです。

## 革 新 *Innovation*



### Touch



#### より軽やかなタッチ

タッチ感に最も影響を与える鍵盤系の設計を見直しました。鍵盤の長さを延長するなどの改良により、理想的なタッチを実現しました。

### Sound



#### より伸びやかなサウンド

響板固定方法など、構造設計を大幅に見直すことにより、芯のある凛とした響きに到達しました。

### Design



#### より美しいデザイン

本体枠の内側にバースアイメープルと呼ばれる明るく美しい木目化粧を施すなど、一目見てShigeru Kawaiと分かる美しい外観フォルムにこだわっています。

### ■ 記者発表とレセプション



浜松にて新Shigeru Kawaiの国内初のお披露目となる記者発表を行いました。その後東京、名古屋、大阪でも発表を記念したレセプションパーティーを開催し、多くのピアニストや音楽教育関係者の方々にご来場いただきました。

### ■ 「世界一のピアノ」を目指して

世界有数の楽器ショーであるNAMMショー(アメリカ)、フランクフルトメッセ(ドイツ)で新Shigeru Kawaiを披露し、多くのディーラーから高い評価をいただきました。

今後は、中国(上海)国際楽器展覧会や世界各国での披露レセプションを通じ、進化した音色を体感していただき、「世界一のピアノ」の実現に向け取り組んでまいります。

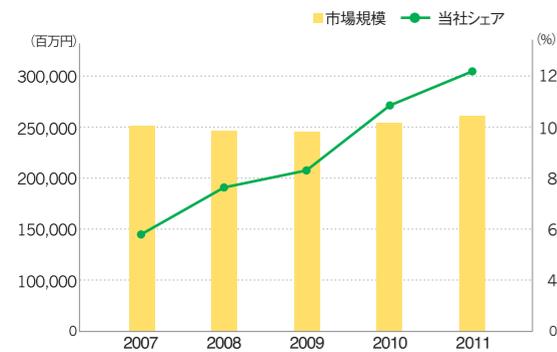


■世界と中国における当社の鍵盤楽器シェア

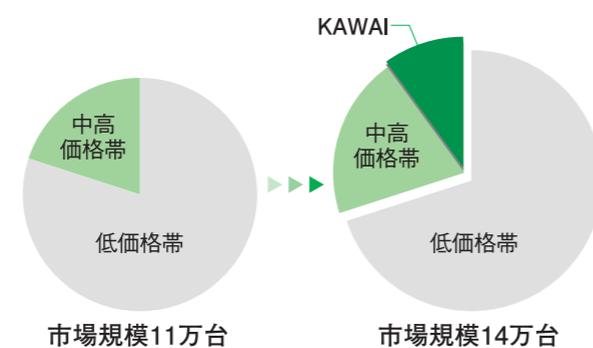
鍵盤楽器の世界市場は、リーマンショックによる市場縮小後、横ばいから回復傾向にあります。当社の販売台数は増加しており、シェアを拡大しております。

一方、中国におけるピアノ市場は毎年、概ね横ばいで推移していますが、当社は生産・販売・音楽教室・調律の四位一体体制により総合力を発揮した事業展開を進めており、2007年に比べ、現在シェアを2倍以上に伸ばしております。さらに、今年の2月から、今後市場拡大が期待できる電子ピアノ市場において販売を開始し、計画通り順調に推移しております。今後はさらに競争力を上げ、シェアを拡大してまいります。

中国のグランドピアノ・アップライトピアノ市場とシェア



中国の電子ピアノ市場とシェア



■インドネシアにおける生産体制

インドネシアにおいて、新たに主要部品ユニットを製造する新工場を建設する予定で、これによりインドネシア工場でのピアノの一貫生産体制を構築してまいります。また、新工場にはショールームを併設することにより、カワイブランドの浸透をはかってまいります。



■東日本大震災復興チャリティーコンサート開催

昨年発生した東日本大震災の復興支援として、浜松市内において秦万里子さんをむかえ、チャリティーコンサートを開催しました。コンサートの収益金と募金のすべては、浜松市が支援を続けている岩手県大船渡市の学校へピアノを贈るために使われます。

当日は、被災地から避難されている方々や、浜松から被災地へボランティアに行かれた方々を招待させていただきました。また、多くの方々にお越しいたごき、盛況のうちに有意義なコンサートとなりました。



■子供のピアノコース教材「サウンドツリー」全面改訂

「サウンドツリー」は「子供の主体性を尊重する新しいピアノメソッド」として大変高い評価をいただいております。すべての子供達がより楽しく、より効果的に音楽力を身につけられるメソッドとして全面改訂しました。



■デジタルピアノ「ES7」新発売

スピーカーを内蔵しながらもスリムなボディとスタイリッシュなデザインで好評をいただいているデジタルピアノESシリーズは、新開発音源や最新のアクション機構など多彩な最先端機能を搭載し、豊かな表現力を備えた「ES7」として生まれ変わりました。



■iPad対応アプリ「PDFミュージシャン」発売

当社の楽譜認識の技術を活かした「PDF楽譜認識エンジン」を搭載することにより、単なるPDF楽譜の表示だけでなく、自動演奏も可能にしたiPad対応アプリ「PDFミュージシャン」の配信を開始しました。



## 決算情報

### ■連結貸借対照表(要旨)

(単位:百万円)

科目	当期 '12.3.31現在	前期 '11.3.31現在
(資産の部)		
流動資産	19,426	19,478
固定資産	17,098	18,268
有形固定資産	13,692	14,422
無形固定資産	707	875
投資その他の資産	2,698	2,970
資産合計	36,525	37,747
(負債の部)		
流動負債	10,580	12,241
固定負債	11,186	11,813
負債合計	21,766	24,054
(純資産の部)		
株主資本	16,417	15,194
資本金	6,609	6,609
資本剰余金	744	744
利益剰余金	9,077	7,854
自己株式	△14	△14
その他の包括利益累計額	△1,658	△1,501
純資産合計	14,758	13,692
負債及び純資産合計	36,525	37,747

### ■連結株主資本等変動計算書(2011年4月1日～2012年3月31日)

(単位:百万円)

	株主資本					その他の包括利益累計額			純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計	その他有価証券評価差額金	為替換算調整勘定	その他の包括利益累計額合計	
2011年4月1日残高	6,609	744	7,854	△14	15,194	116	△1,618	△1,501	13,692
連結会計年度中の変動額									
剰余金の配当			△384		△384			-	△384
当期純利益			1,608		1,608			-	1,608
自己株式の取得				△0	△0			-	△0
株主資本以外の項目の連結会計年度中の変動額(純額)					-	51	△209	△157	△157
連結会計年度中の変動額合計	-	-	1,223	△0	1,223	51	△209	△157	1,066
2012年3月31日残高	6,609	744	9,077	△14	16,417	168	△1,827	△1,658	14,758

### ■連結損益計算書(要旨)

(単位:百万円)

科目	当期 '11.4.1～'12.3.31	前期 '10.4.1～'11.3.31
売上高	58,058	58,601
売上原価	43,287	43,611
売上総利益	14,770	14,989
販売費及び一般管理費	12,242	12,363
営業利益	2,528	2,626
営業外収益	307	227
営業外費用	334	584
経常利益	2,500	2,269
特別利益	51	515
特別損失	131	664
税金等調整前当期純利益	2,420	2,120
法人税、住民税及び事業税	789	391
法人税等調整額	22	△131
当期純利益	1,608	1,859

### ■連結キャッシュ・フロー計算書(要旨)

(単位:百万円)

科目	当期 '11.4.1～'12.3.31	前期 '10.4.1～'11.3.31
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,734	5,010
投資活動によるキャッシュ・フロー	△546	△1,127
財務活動によるキャッシュ・フロー	△2,789	△2,221
現金及び現金同等物に係る換算差額	△31	△66
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△633	1,594
現金及び現金同等物の期首残高	7,697	6,103
現金及び現金同等物の期末残高	7,064	7,697

## 会社概況(2012年3月31日現在)

### ◆会社の概要

商号	株式会社河合楽器製作所 [英文表記] KAWAI MUSICAL INSTRUMENTS MANUFACTURING CO.,LTD.
創立	1927(昭和2)年8月9日
設立	1951(昭和26)年5月15日
資本金	6,609百万円
上場証券取引所	東京証券取引所 市場第一部
主な事業	楽器の製造、仕入並びに販売 音楽教室・体育教室の運営 金属加工品及び木工加工品の製造、仕入 並びに販売
従業員数	連結2,784名/単体 1,469名

### ◆事業所

本社	〒430-8665 静岡県浜松市中区寺島町200番地
工場	[国内] 竜洋工場(静岡県磐田市)など [海外] インドネシア、中国
営業拠点	[国内] 関東支社(東京都渋谷区) 中部支社(名古屋市中区) 関西支社(大阪市中央区) [海外] アメリカ、ドイツ、中国など

### ◆役員

代表取締役社長	河合 弘 隆	執行役員	仲野 啓 二
取締役(副社長執行役員)	佐野 良 夫	執行役員	安藤 潤 一
取締役(専務執行役員)	河崎 哲 男	執行役員	稲垣 誠
取締役(常務執行役員)	小倉 克 夫	執行役員	日下 昌 和
取締役(常務執行役員)	大窪 素 雄	執行役員	西尾 正由紀
取締役(上席執行役員)	村上 二 郎	執行役員	富山 千 広
取締役(上席執行役員)	金子 和 裕	執行役員	市川 秀 雄
常勤監査役	高木 和	執行役員	伊藤 照 幸
常勤監査役	嶋岡 伸 治	執行役員	江部 博
社外監査役	都築 知 也	執行役員	玉村 邦 明
社外監査役	田畑 隆 久	執行役員	大神 正 清
		執行役員	合田 光 範
		執行役員	牛尾 浩

### ◆株式の状況

- 発行可能株式総数 342,000千株
- 発行済株式の総数 85,521千株  
(自己株式88,981株を除く)
- 株主数 9,309名
- 主要株主

株主名	株式数(千株)
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	6,142
株式会社河合社団	4,778
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	3,876
東京海上日動火災保険株式会社	2,750
明治安田生命保険相互会社	2,700
カワイ従業員持株会	2,547
河合楽器取引先持株会	2,340
共栄火災海上保険株式会社	2,250
株式会社静岡銀行	2,040
日本生命保険相互会社	1,873

### 5.株主構成

